

学籍番号

氏名

コマンドプロンプトとバッチファイル No.4 の課題

課題 1. 次のようなバッチファイルを書け。

身長 t [cm] (整数 3 桁) と体重 w [kg] (整数 2 桁) の 2 つの値を `set /p` を用いて受け取り、そこから BMI の 10 倍の値 $x = 10^5 w / t^2$ (通常は整数 3 桁となる) を計算して表示する。

課題 2. バッチファイルへのオプションとして 3 つの整数値 x, y, z を受けとり、それらの値と、それらの二乗の和 $L = x^2 + y^2 + z^2$ を表示するバッチファイルを書け。

課題 3. 「`help set`」として表示される内容を、エディタを使わずに `set.txt` という名前のファイルに保存するコマンドを書け。

学籍番号

氏名

コマンドプロンプトとバッチファイル No.4 の課題

課題 4. 次のようなバッチファイルを書け。

12 個のオプションを受け取り、その偶数番目のオプションを順に空白なしに全部つなげた文字列を環境変数 `even` に、奇数番目のオプションを同様につなげた文字列を環境変数 `odd` に保存し、`odd` と `even` の値を 1 行ずつ表示する。なお、`shift` は 3 回だけ用いる。

課題 5. 次のようなバッチファイルを書け。

実行したときに対話的に 3 行の文字列を受け取り、それらをそれぞれ変数 `s1`, `s2`, `s3` に保存し、それらを `cycle.txt` というファイルに、`s2`, `s3`, `s1` の順に 3 行書き出す。なお、既に `cycle.txt` がある場合にもこの 3 行だけになるようにすること。

課題 6. カレントディレクトリに `test0.dat` ~ `test999.dat` の 1000 個のファイルと `trash` というディレクトリがあるとき、最終的に `test200.dat` ~ `test999.dat` の 800 個のファイルを `trash` に移動し、残りの 200 個はカレントディレクトリに残すためのコマンド列を書け。なお、実行するコマンドは 7 個以下とする。